

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和3年3月1日

事業所名: ふきのとう

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	福祉専門職の常駐	ハード面でのバリアフリー化は園の特色上難しいがソフト面でのバリアフリー化を今後も図っていく
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			○		勤務時間のズレ等により難しい場合はIT等の利用で可能な限り多くの職員が参画できるようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			不定期に実施のため、課題整理にとどまり、具体的な改善にまで生かしていない。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○			職員数が限られており、なかなか実施できていないが、今後は計画的に実施していきたい
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートの利用や複数者の意見を採用	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			24節気の活用	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		同一課題に対し長期休暇ならではの活動を設定し、重点的に支援。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			○		勤務時間のズレ等もある為、ITを活用し、支援内容等が確認できるようにしていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○		勤務時間のズレ等もある為、ITを活用し、支援内容等が確認できるようにしていく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			少なくとも6か月に一度はモニタリングと個別支援計画の更新を実施		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携 関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○			平日利用が少ないため、どちらともいえない
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			ケースやニーズによる
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		今までに児→者へサービスの切り替え経験がまだない。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			同法人のかごしま森のようちえんへのインクルーシブの実施	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		職員数がギリギリでなかなか参加できていない
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
保護者 への説明 責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			利用者数が少ないため、研修や話し合いの場の設定はないが、その分、申し送りやZOOMで個別対応をしている
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		複数のスタッフで相談を受ける(可能な限り)	まだまだ勉強の余地があり、今後も希望に添えるように努力していきたい。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			今後も可能な限り参観日や共同作業日等を設定していきたい
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			複数のスタッフで相談を受ける(可能な限り)	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35 個人情報に十分注意しているか	○				
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			福祉専門職の常駐	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			開催したいと思いつつコロナ等もあり実施できていない

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っているか	○				
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか		○			職員数が限られており、なかなか実施で きていないが、今後は計画的に実施して いきたい
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説 明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に 記載しているか			○		不整備の為、内容を精査し今後明示して いけるように努力する。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか	○				
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい るか		○			事例集まではいかず、日々の共有と日 報上でのストックにとどまっている。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。